



# 三鷹中央通信



日本医療機能評価機構

三鷹中央病院は、平成19年2月に日本医療機能評価機構 Ver5 の認定を受けました。

## 三鷹中央リハケアセンター『運営理念』

「在宅生活への復帰」と「自立支援」を目指したリハビリを行います。障害をお持ちの方の人間としての尊厳を守ってお世話をいたします。明るく家庭的な雰囲気、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行います。

## 三鷹中央病院『医療理念』

当院は 地域医療の第一線を担う病院であることに誇りをもち いつでも どなたでも診療いたします。常に親切・安心・質の高い医療の提供を心がけ、事故のない病院をめざします。

2012年 Vol.14

# あんしん

## 2012春号

### 新年度の「ご挨拶」

医療法人社団 永寿会  
社会福祉法人 正寛会 理事長 吉田 正一

昨年、世界で大きな天変地異があつて歴史に残る大災害が生じた年でした。日本でも、紀伊半島の大雨や長野北部の地震などもありましたが、特筆すべきは未曾有の大災害となった東日本大震災と、その余波で起こった福島第一原発であつたことは、論を待たないでしょう。

1年が経過した今、東京でも体感地震が頻回に起こつていて、近い将来に大規模な首都圏直下型地震が起こる可能性が高いことが喧伝されるなか、まるで襲来する大地震の足音を肌で感じながら日常生活を送っているような気さえして憂鬱になります。

被災した地域では、今も瓦礫処理がほとんど進まぬままで、再建の設計図が描けないでいます。「いつまでも悲しんでいないで前へ進まなきゃと思うけど、どっちが前かわからない」と、テレビのインタビューにコメントしている被災者がいました。被災者の心情を良く表している発言だと思いました。

我々は、誤つた安全神話が崩壊した今回の悲劇から多くのことを学ばなければならぬと思います。防潮堤や原発の安全性への過信など、安全神話が脆くも砕け散りました。そして、災害に対する日常の心構えの備えが充分でなかつたことも露呈しました。「逃げる」「早く」「高いところへ」。津波に対する、これだけの最も基本的なことが実践されなかつたばかりに、多くの小学生をはじめ若い生命が奪われました。

医療現場においても、誤つた安全神話を是正し、医療安全に対する基本姿勢を今一度見直さなければならぬと痛感しています。

さて、昨年の当法人・永寿会と正寛会の大きな変化を列挙しますと、三鷹中央病院が一昨年からDPC対象病院に移行したのに続いて、9月から電子カルテを導入しました。軌道に乗るまではどうしても入力に時間がかかってしまい、外来患者さん並びに御家族の皆様にご迷惑をお掛けしてしまいました。この場をお借りして深くお詫びを申し上げます。

また、三鷹中央病院の外科に、6月からがん研有明病院の肝胆膵外科医長を長年勤めた関 誠先生が来てくれました。更に今年2月から北海道大学の肝移植グループで研鑽した櫻井 経徳先生も着任しました。当院の消化器外科が、格段にレベルアップしたことは間違いありません。24時間対応の在宅療養支援診療所である「ふれあい診療所」は、杏林大学病院から新たに清水 昌彦先生が加わり、3名体制になりました。リハケアセンターの医師が、今年3月から老健勤務に実績のある古閑 文治先生に代わりました。新任の先生方も、既に在職の医師同様それぞれの持ち場で患者さんや利用者さんの期待に充分に応えてくれるものと確信しています。

さらに、9月に当法人の訪看としては3箇所目になる「武蔵野ふれあい訪問看護ステーション」を武蔵境に開設したこともお知らせ致します。

そして、昨年末には三鷹中央病院が、日本病院機能評価認定病院の維持に必要な5年毎の審査を受けました。病院機能評価を受けるということは、5年毎に立ち止まり、また振り返って自分の病院の欠点・長所を見直す機会を与えてくれる本当に良いチャンスだと考えています。この度の審査結果を踏まえて、医療の質・看護の質・病院のあり方をさらに改善して、地域医療を担う病院としての立場を、より強固にしたいと思えます。

三鷹中央病院をはじめ、当法人・永寿会と正寛会を本年度もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## ご挨拶



三鷹中央病院  
外科部長 関 誠

新緑の候、如何お過ごしでしょうか。今冬、日本海側は大雪、太平洋側も寒波に見舞われて、皆様春がとても待ち遠しかったのではないのでしょうか。

私は、26年間勤務した癌研外科を離れ、昨年6月から三鷹中央病院外科に勤めております。お陰様で赴任後は、癌研外科の先輩に当たる吉田正一院長と共に、毎日のように消化管手術に取り組み、外科医として幸せな毎日を送っております。赴任直後に感じたことは、『当院は、かつての癌研外科に似て、医師・看護師・パラメディカルの全スタッフが皆、頭領を尊敬して、患者に安堵を与えるという同じ方向を向いている』という事でした。

皆様のお蔭で、赴任して10カ月足らずで大腸癌18例・胃癌10例・肝胆膵癌14例・後腹膜肉腫3例など多くの癌腫手術を経験させて頂き、さらに今まで自分が経験の浅かった肛門疾患の手術を院長から直接御指導戴いております。

私事にはなりますが、私のモットーは、**「叩けよ、さらば開かれん！」**です。多くの病める患者さんに少しでも安心を届けられるよう、決して諦めることなく、一人一人の患者さんにオーダーメイドの治療を模索して行こうと考えております。どうかよろしくお願い申し上げます。

## 平成23年9月5日より電子カルテを導入致しました

三鷹中央病院では、「患者さまへのサービスの向上、医療の質の向上、病院運営管理の効率化、医療の安全の向上」の目的を実現するため、平成23年9月5日より電子カルテを導入致しました。

電子カルテとは、これまでの紙のカルテの代わりに、パソコンに医療情報を書きこんでいくシステムの事です。院内の各部門にパソコンを設置し相互にデータをやりとりします。これにより多くのメリットをもたらします。

**▼患者さまへのサービスの向上**  
診療は予約制を導入し、医師が検査などの指示をパソコンに入力すると、瞬時に関連部署に情報が伝達されます。これにより検査結果をすぐさま確認・説明に用いることが出来ます。

さらに、予約制診療、医療費の計算が迅速に行えるようになり、待ち時間の短縮にも繋がります。

**▼医療の質の向上**  
患者さまの過去の病歴、検査や投薬内容を素早く検索・抽出し、検査結果の比較やグラフ化して表示する

ことが出来るので、より綿密で患者さまにとって分かりやすい治療が可能になります。

**▼病院運営管理の効率化**  
情報の一元化により、各部門の連携がスムーズになり、新たなサービスの展開や患者さまのケアに充てる事が可能になります。

**▼医療の安全の向上**  
薬や検査の指示の確認が行いやすくなることで、転記ミスや誤読を防止することが出来ます。また、患者認証システムにより同名同名の患者さまの取り違い等の患者さまの確認ミスを未然に防止することが出来ます。

病院職員一同、万全の体制を整え、安全で迅速な運用に向けて取り組んでおります。しかしながら、職員が電子カルテの扱いに慣れ、迅速に運用できるようになるまでに若干の時間がかかると思われま

す。皆さまにはご不便をお掛け致しますが、ご理解とご協力を賜りますことを、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 三鷹中央リハケアセンターの4大行事

三鷹中央リハケアセンターでは年に4回、大きな行事を開催しています。

3月は「運動会」。昨年は大地震のため自粛しましたが、いつもは冬の間縮こまっていた体をほぐすように、大玉おくりや、障害物競走等を楽しみます。運動会の目玉は、フロアー別職員の綱引きと、仮装した職員の応援合戦。いつもと違う職員の姿に、ご利用者も声援と応援に力が入ります。

6月は「あじさい祭り」。納涼祭りの催し物で、ご利用者、ご家族に楽しんでいただきます。昨年はご当地グルメの「どんぶり」を10品ご用意し、その中から3種類を食していただきました。また、職員がピンクレディーの「UFO」を踊り、会場を盛り上げました。

9月は「敬老会」。昨年は近海の生マグロを1本仕入れ、ご利用者の前でさばきながら、試食をしていただきました。大トロ、中トロの試食に皆さまご満悦で、昼食のマグロ丼は、普段食事が少ない方もお代わりをされる程好評でした。また、職員有志による「よさこいソーラン節」では、職員の意外な一面を見ることができ、ご利用者も大変喜ばれていました。

12月は「クリスマス会」。外部ボランティアによる出し物の他、職員による「きよしこの夜」等のハンドベル演奏、コーラス等により、クリスマスのムードが盛り上がりです。最後は、職員が仮装したサンタさんからご利用者1人ひとりにプレゼントが渡され、皆さまの笑顔が一段と輝きました。介護老人保健施設は、入所期間が3カ月から6カ月と短く、全ての行事に参加していただくことはできませんが、できるだけ皆様楽しんでいただくように、クラブ活動にも力を入れております。今年も1年間、良いサービスをご提供させていただき所存でございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

## ◎三鷹中央病院

住所:〒181-0012 東京都三鷹市上連雀5-23-10  
Tel:0422-44-6161(代) Fax:0422-48-9009

☆患者様の訴えを素直に受けとめて、  
診療内容をわかりやすく説明し、最善の医療を提供します。

診療科:内科・循環器科・内分泌科・呼吸器科・外科・消化器科・肛門科  
整形外科・皮膚科・脳神経外科・眼科・泌尿器科・リハビリテーション科  
人間ドック(1日・1泊)・健康診断・各種検診・産業医委託

診療時間:月~土曜日/am9:00~12:00 pm2:00~5:30  
日曜・祝日/am9:00~12:00(救急外来は24時間受付)

病床数:122床(一般病床)

その他:ふれあい診療所 Tel:0422-79-1313  
ふれあい訪問看護ステーション Tel:0422-48-6031  
武蔵野ふれあい訪問看護ステーション Tel:0422-36-1601



## ◎三鷹中央リハケアセンター

住所:〒181-0013 東京都三鷹市下連雀9-2-7  
Tel:0422-70-0700(代) Fax:0422-70-0701

☆心のもった介護、看護、リハビリテーションを提供し  
「在宅生活への復帰」と「自立支援」を目指します。

ベッド数:100床(一般療養100床)  
4床室/19室 2床室/1室 個室/22室

施設設備:機能訓練室(207.00㎡) 機械浴室(男女別) 自立浴室

その他:通所リハビリテーション(定員60人) Tel:0422-70-0700  
訪問看護ステーション Tel:0422-70-1055  
居宅介護支援事業所 Tel:0422-70-1066



## ◎ケアコート武蔵野

住所:〒180-0023 東京都武蔵野市境南町5-10-7  
Tel:0422-39-0390(代) Fax:0422-39-0392

☆利用者の皆様にとっても、そして職員にとっても、  
楽しく生きがいの持てる施設づくりを目指しています。

病床数:80床(一般病床)

事業内容:特別養護老人ホーム 72床(8ユニット)  
短期入所生活介護 8床(1ユニット)

特徴:○全室個室のユニットケアを実施します。  
○「安心」「安全」「快適」な空間と人を大切にしたい  
サービスの提供に努めます。



# ACCESS

### 三鷹中央病院

#### JR中央線 三鷹駅(南口)

- 小田急バス ④「新小金井駅」行
- ④「武蔵境営業所」行
- ⑤「調布駅北口」行

『曙住宅・三鷹中央病院前』下車徒歩1分

- タクシー(1区間)

### 三鷹中央リハケアセンター

#### JR中央線 三鷹駅(南口)

- 小田急バス ⑧「野ヶ谷」行
- 『MCC三鷹ビル前』下車徒歩1分

#### JR中央線 吉祥寺駅(南口)

- 小田急バス ⑧「調布駅北口」行

#### 京王線 仙川駅(北口)

- 小田急バス ⑧「三鷹駅」行
- 『三鷹農協前』下車徒歩1分

### ケアコート武蔵野

#### JR中央線 武蔵境駅(南口)下車(徒歩15分)

- 小田急バス ③「狛江駅・狛江営業所」行
- ④「吉祥寺駅」行

『井口新田』下車徒歩1分

